

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 新潟県佐渡市
 本事業の担当部署名 社会福祉部子ども若者課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	3.2.2 地域全体で結婚・子育てを応援する気運醸成							
個別事業名	たからじま応援団事業					新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間	令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和1年度	
総事業費(A)(円)	528,833		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	528,833	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	528,833							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	28,000	0	0	0	187,333	313,500	
	対象経費支出予定額	28,000	0	0	0	187,333	313,500	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	0	0	0	0	0	528,833	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	528,833	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 佐渡市では、結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育て支援を強化し、子育てがしやすい温かい社会づくりとその気運の醸成を目指した事業を実施する。 また、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるため、地域特性を活かした出会いの場を創出し、若者同士の交流を促進させるほか、経済的な不安等から結婚に踏み切れない層に対して結婚新生活支援事業を実施し、結婚・子育てへのハードルを下げ、佐渡ならではの温かい地域社会を作り、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える。</p> <p><本個別事業の位置付け> 兄弟数の減少、核家族化、地域でのこどものつながりや遊びの形態の変化等が影響し、五感を使って体験する遊びをする機会が減少している。コロナ禍や超高齢化により、子育て家庭と地域とのつながりも希薄になってきていることもあり、子育てに孤独感や孤立感を感じている人が増えてきている。 また、R1年、R5年の調査によると、佐渡市における家事・育児等の負担は、現在も女性の方が大きい。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	こどもが元気なからじまひろば	①こどもが元気なからじまひろば(継続) 活動・体験ブースでは、市内で様々な活動を行っている市民からこどもや親子が五感を使って楽しめる内容を提供する。展示ブースでは、祖父母世代や地域住民への子育て情報の発信を行うことで、多様な立場、世代へ子育てを応援する気運の醸成を図る。 ②子育て交流ひろばオープニングイベント 佐和田図書館の改修により誕生するこども図書館内に、子育て家庭が交流できる「子育て交流ひろば」を併設。そのオープニングイベントとして、親子で楽しめるWS等を開催。イベントの開催をきっかけに、施設の目的や利用方法などについて幅広く市民へ周知を図ることで、直接子育てに関わっていない層にも関心を持ってもらい、地域全体で子育てを応援する気運の醸成を図る。					
	2	たからじま応援団	「春のこどもまんなか月間」「秋のこどもまんなか月間」に合わせて、子育てに関する情報を啓発し、子育て家庭だけでなく、祖父母世代や地域住民にも「子育ての今」を理解・共感してもらうことで、子育てを応援してくれる人を増やす。 また、佐渡市ではベビーファースト運動に参画しており、市内事業所19の事業所が参加しているが、飲食店などの子育て家庭に身近な事業所の参加が少ないため、参加事業所の拡大を図る。それらの情報を母子手帳アプリやSNS等に掲載し、わかりやすく情報提供することで、子育て家庭の外出支援につなげる。 また、令和6年度のこどもの意見聴取の中で、子育てに優しい島になるために「妊婦さんに手紙を書きたい」「男性の育児参加のポスターを書きたい」など、さまざまな声があったことから、こどもまんなか月間の取組の一環として、					
	3							
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 令和6年度の実施において、子育て支援センターやミュージックケアなどの人気が高く、スペースや実施回数の拡大の要望があった。また、全天候型の遊べるスペースがほとんどないことから、こどもがのびのび遊べるこのようなイベントを毎週やってもらいたいとの声もあった。地域によっては公園や遊具の数・種類にも差があり、遊び場の格差もあることから、どの地域でも休みの日に思いっきり遊べる環境を望む声が多く聞かれる。 このことから、令和7年度は複数地区にてイベントを開催する。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率		%	3.0 (R8年度)	2.4 (R5年度)
	出生数		人	287 (R8年度)	184 (R5年度)
	ファミリーサポートセンター会員数		人	150 (R8年度)	196 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.43 (R5年度)	
	婚姻件数		件	117 (R5年度)	
	婚姻率			2.4 (R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	イベント参加者数	人	500 (R7年度)	500 (R5年度)
	②	ベビーファースト運動加入事業者数	団体	25 (R7年度)	19 (R5年度)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	92	90.5
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					